

市議会レポートvol.3

健康なまちを実現。 未来へ責任。

自由民主党

森たかやす

総務常任委員会・公共施設調査特別委員会 委員長
市議会だより編集委員会・湖南広域組合議会議員



今こそスポーツに関心を…

守山市議会議員／自由民主党滋賀県連前青年局長／自由民主党守山連協 河西支部長
滋賀県自転車競技連盟 会長／守山市卓球協会 会長／NPO法人きれいなおうみを作ろうの会 会長

森たかやす

新型コロナウイルス関連、ワクチン接種の報道や東京オリ・パラが果たして実施されるのかなどウィズコロナ、アフターコロナの在り方などがテレビ報道でなされています。

当然、本市においてもコロナ感染者は、昨年からの対策は講じているものの取まることなく、増加傾向にあり、今後の感染者のアフター対策やさらに意識してのコロナ対策を拡充になお一層取り組む必要があると感じております。

菅総理の施政方針演説においては、「安心を取り戻すため、新型コロナを一日も早く収束させる。闘いの最前線に立ち、難局を乗り越えていく決意だ」と表明し、企業実務や社会保障について方針が表明されました。

デジタル庁の創設は、改革の象徴であり、組織の縦割りを排し、強力な権能とし、初年度は3千億円の予算を持った司令塔として、国全体のデジタル化を主導し、1兆円規模の全国規模のクラウド移行に向け、今後5年間で自治体のシステムも統一、標準化を進め、業務の効率化と住民サービスの向上を徹底していく方針であり、さらに、マイナンバーカードの普及のため

マイナポイントの期限も半年間延長して運転免許証との一体化など目指されます。

私としては、総じてウィズコロナに対する日本経済小企業対策や、低所得者対策、若者の正規雇用、給料のベースアップ等、国民が安心して生活できる政策の展開を期待するものであります。

守山市も令和3年度予算議会が2月からスタートし3月25日で閉会しました。市長11年目の予算編成においては、新型コロナに対応した緊縮予算であり、将来に向けて施策の基礎運営に支障が来たことがないように、令和2年度補正予算と組み合わせ、前倒しの守山南中学体育館、防災・減災への河川等整備、中学校給食の充実、起業家の集まるまち守山の実現等に向けた施策に、積極的に取り組むための予算を計上されました。



小鐘先生が厚生労働大臣政務官に就任、訪問



守山クリテリウム

守山市議会 森たかやす一般質問



本市の住みやすさに寄与する、「安心子育て環境・教育の充実と次世代の推進」からスポーツの分野から質問!!

令和3年度から教育委員会文化・スポーツ課からスポーツを取り出して現在ある地域振興課同様に市長部局に配置する旨の報告がありました。

今後のスポーツ行政を考えたとき、これまでのハード面の整備だけでなく、これからはソフト面の充実を図る必要があると考えますが、地元根付いた関連団体である市スポーツ協会や市文体事業団などと強く連携し活用していくべきではないかと思う。スポーツ部門市長部局に移した狙いと本市における今後のスポーツ行政、スポーツ振興についてどのような構想を持ちか?

答弁者 市長

スポーツ関係団体の協力が欠かせないものと考えており、大会の運営にはボランティアの協力の重要度が高まっており、多くの市民の皆様のご理解とご協力のもと、コロナ禍を乗り越えて実施できますよう盛り上げてまいりたいと考えている。スポーツに親しむことにより世代の違いや障害の有無を超えた健康づくりや仲間づくりの機運醸成、子ども達の健全育成に加え競技力の向上を図ってまいりたい、総合的に施策を展開していくため、令和3年度から、現在、教育委員会所管のスポーツに関する事務を総合政策部に移管します。

「新たな日常」に向けた持続可能なまちづくりと信頼される市政運営の内、防災・減災、国土強靭化対策の推進について質問!!

市長は、今期定例会に「新たな日常への対応と豊かな田園都市を目指した基盤づくり予算」として上程されました。

昨年12月定例会議において意見書を決議し、国においては、新たに国土強靭化5か年加速化計画が決定されました。早速本市では、野洲川の河道内の浚渫及び掘下げの実施が予定され、防災、減災の一助の計画をいただいております。そうしたことから、引き続き国土強靭化計画に基づく中長期的な見直し、インフラの老朽化対策、災害に強い幹線道路整備などの予算確保に向け、今こそ計画はもとより、この国土強靭化予算を活用し本市の防災、減災に繋がる施策の推進が必要ではないかと考えますが市長はどのようにお考えか?

答弁者 市長

来年度から防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策として新たに取組みが決定されました。また、今年度の国の3次補正予算において、野洲川については、河道内堆積土砂の撤去および河道掘削が予定されています。そのほか、国や県の事業として国道8号野洲栗東バイパス事業、大津湖南幹線事業、国道477号バイパス事業および新守山川改修事業の前倒しが図られると伺っている。

国土強靭化の予算を有効に活用する中で、災害に強いインフラ整備を進めてまいりたい。

ウィズコロナからアフターコロナに対する新しい生活様式の即した業務の実施として市長は、ICTの活用内、公共施設オンライン予約システムの取組について質問!!

コロナ関連予算として、12月定例会議において補正予算2,700万円で確保され、初期投資に1,200万円、1,500万円の5年間のランニングコスト先払いの仕組みで取り組まれましたが、3月19日に審査が行われる予定でしたが不調となりました。公共施設オンライン予約システムは、公共施設はもとより、スポーツ施設関連、各地区会館、や図書館等、多岐にわたり、わかりやすい内容で決済が出来ることと誰もが気軽に予約できる仕組みが必須であると考えます。全庁挙げての議論や関連する団体、利用する市民の声を活かして、公平公正な運用が図られるようなど課題を解決し、令和3年10月開始実施が予定通り行えるよう、どのような計画で取り組まれるのか?

答弁者 市長

公共施設予約システムの導入につきましては、公募型プロポーザルを実施いたしました。

しかしながら、不調にいたりしました。収納業者との契約を除く仕様を改め、4月中にプロポーザルを実施し、令和3年10月からの運用開始に向け、現在、取り組んでいる。

公共施設予約システムについては、コロナ禍にあっても、予約開始日に一部施設において、多くの利用希望者で混雑するなど、市民の皆様にご負担をおかけしていることを踏まえ、地区会館をはじめ、スポーツ施設、図書館など24施設への導入を目指している。

本システムの運用面においては、施設の予約は原則、先着順とし、利用者の多い体育施設などは、一定の予約受付期間を設け、利用申込みが重複した場合はシステムに抽選機能を付与することとしておりますが、施設を利用する関係団体や利用者の方々の声をお聞きしながら、公平公正な運用を行ってまいります。